

知恩 第21号

春3月、27年に、日本遺産に認定された弘道館、偕楽園の梅も、今を盛りと咲いており、毎年、行なわれる「梅まつり・2月21日より3月31日まで」、には多くの観梅客で、連日大変賑わっていました。
写真を撮ってきましたので、下記に掲載します。



日本遺産 水戸市 弘道館 正庁 (学校御殿) H29、3、29 撮影 K

弘道館はH23、3、11、東日本大震災で破損しましたが、完全に修復されていました。

◆平成29年度の定時総会が終了しました。

各議案は、原案とおりに承認されましたことを、ご報告致します。本年もよろしくお願い申し上げます。

日時 平成29年3月26日 (土曜日) 午後1時30分から午後3時30分まで

場所 祇園寺 客殿・大広間 水戸市八幡町11-69

総会次第

進行 pm1:30 事務局
開会の辞 2会長 挨拶 3議長選出 4議事 5その他

議事

- 第1号議案 平成28年度行事報告
- 第2号議案 平成28年度収支決算報告 監査報告
- 第3号議案 平成29年度行事計画案
- 第4号議案 平成29年度予算案
- 第5号議案 会則一部改定の件
- 第6号議案 任期満了に伴い役員改選の件

議事終了後、市村眞一先生の講話をお聞きしました。著書「市川勢の軌跡」「大志」について

終了 pm3:30 事務

平成29年 新年度を迎えて

皆様 こんにちは。書面にて、ご挨拶と本会の経過報告をさせていただきます。

本日は、お忙しいところを総会にご参加下さいましてありがとうございます。又日頃は、会の運営にご協力を頂き、厚くお礼申し上げます。

ご案内のとおり、今日は、総会事項をご審議頂きますので宜しくお願い致します。
本会設立以来の経過について

昭和10年、第1回慰霊祭には、田中光顕・前宮内大臣、茨城県知事、水戸市長、水戸警察署長など多くの方が参列し、厳粛に水戸藩諸生派殉難者慰霊祭が行われました。その内容は会報知恩第1号で報告したとおりであります。

昭和41年、約50年程前、匝瑳市で100年忌法要が行なわれた時、水戸市の山本敏雄 市長は追悼の辞で次のように述べられました。

水戸藩家老・朝比奈弥太郎どの以下20余柱の御霊の御前に、水戸市民を代表して謹んで申し上げます。貴方様方は徳川家の大事に際して、親藩としての義を全うしようとされましたことを、私共、日本人の美風として、心打たれるものがあります。又、終わりには、私共、水戸市民も、当地の温かいご厚情に深い感激と感謝の念を禁じ得ぬものがあります。願わくは、今日、此処に御霊を慰め、ご冥福を祈らんとする私共の至誠を受けられまして、国家の平安と八日市場水戸両市の発展を護り賜わんことを。と述べられています。「中略」

平成18年、慰霊祭を継続して行うべく、本会・水戸殉難者恩光碑保存会を設立、現在に至っています。

平成16年、恩光無辺の碑建立後、第1回慰霊祭以来、70年の空白時期の後、慰霊祭を復活しました。

初代会長・故大森信英先生は、なんととしても、諸生派慰霊の会をつくり、供養しなければ亡くなった諸生派の人々は浮かばれない。水戸の歴史の真実が消えてしまうとの危機感を以て、自分が今立ちあがらなければとの思いにより、本会を立ち上げたのであります。諸生派子孫の私どもには、会を存続し後世に伝えていかなければならない使命があると思います。何卒よろしくお願い致します。

本会設立以来の主な出来事について

平成21年、水戸市議会に於いて、高橋丈夫水戸市議会議員により、水戸藩幕末史において「天狗諸生の歴史上の立場や現在の水戸行政の対応」について、質問され、水戸市当局(市教委)より次のような答弁がありました。当局より、「天狗党、諸生派 両派に今まで差別があったが、今後は平等に対応する。歴史の真実を後世に伝える」等の答弁がありました。

それ以降、水戸市・祇園寺、会津若松市・白虎隊記念館隣接地、新潟柏崎市西山・灰爪の丘、新潟県長岡市寺泊・法福寺、千葉県匝瑳市八日市場などの慰霊祭に、行政の皆様の参列を頂いています。

又、恩光無辺の碑の地震倒壊を防ぐため補強工事、恩光無辺の碑の標石柱の建立、新潟県寺泊 法福寺に佐藤図書守信近の説明板設置、水戸神應寺の慷慨淋漓の碑拓本を水戸市の指定文化財に指定されました。又、県外には水戸市のバスを利用させていただいて大変助かっています。このように、市当局のご支援ご協力を頂き今日に至っています。

本会の悲願 諸生派の名誉回復

私どもは、水戸藩幕末史において、水戸藩諸生派の存在を明らかにし、水戸藩内乱で全滅した諸生派の慰霊・供養をとおして、多くの皆様に、その史実を知って頂き、名誉が回復されることを願っています。

又、水戸藩の歴史の真実を後世に伝える参る所存であります。

歴史は書き直す事は出来ませんが、時代により、歴史観(歴史の見かた)は変わります。

薩長藩閥政府が、天狗党を認め諸生派を否定したことから、明治以降、諸生派は逆賊と見なされたのであり、水戸では、天狗党を賞賛し諸生派を逆賊扱いした歴史観が長い間常識化されていました。

このような「水戸史観」は水戸藩幕末史を知られば知る程、正しくないと思えてなりません。

先祖を思う皆様の心の連鎖が原動力であり、強い絆のもとに水戸藩諸生派国事殉難者の慰霊供養行事を着実に行って参りたいと思います。皆様宜しくお願い申し上げます。

平成29年3月26日 川上

平成29年度 総会議事

第1号議案(28年度行事報告)

- 1 水戸藩国事殉難者慰霊法要を挙行
平成28年5月21日 千葉県匝瑳市八日市場の戦死者墓前において 水戸藩戦没者慰霊法要を挙行しました
- 2 総会 3月23日 祇園寺 大広間において総会を行いました
- 3 役員会 2回
- 4 事務局会 随時・数回
- 5 会報知恩発送 2回(第19号、第20号)
- 6 その他 会津若松市 表敬訪問(交流促進のため)
若手懇談会を開催 2回 役員会若手会合同会議1回

平成28年度 収支決算報告 28,1,1~ 28,12,31 単位・円

収入の部				支出の部			
科目	金額	内訳	摘要	科目	金額	内訳	摘要
前期繰越			21,297	慰霊法要費	158,994		千葉慰霊旅行
年度会費	96,000		46	経常経費	191,814		
年間寄付	10,000		1	寺院費		11,400	会場費
慰霊法要	230,000		千葉慰霊旅行	通信費		74,202	郵送料
参加会費		230,000	46	資料費		19,758	会報作成費
その他	14,000		新年会費	会議費		45,598	役員会議外
雑収入				事務費		0	
				雑費		11,270	
				振込料		4,640	
				渉外費		24,946	
合計	350,000			合計	350,808		

次年度繰越残高

次年度繰越	28年末				
	前期繰越	当期入金	当期払出	当期末残	
恩光碑保存会	21,297	350,000	350,808	20,489	本会計
東京貯金センター	0	117,200	117,200	0	本会計、基金へ移す
恩光碑保存会基金	100,225	55,009	30,000	125,234	特別会計
合計	121,522	405,009	380,808	145,723	

恩光碑保存会基金 に、特別寄付金¥55,000円を頂きました。(28年度)

平成28年度収支決算を上記のとおり報告致します

平成28年 12月31日

水戸殉難者恩光碑保存会

会長 川上有文 印

事務局長 岡見円礼 印

監査報告

監査の結果、帳票・決算書とも適正であることを認めます

平成29年 3月26日

水戸殉難者恩光碑保存会

監事 宇留野光 印

監事 松葉尚志 印

第3号議案(29年度行事計画)

- 1 予定 水戸藩国事殉難者慰霊法要を 祇園寺において行う予定
日時 平成29年9月中(9月 17 日) (日)
- 2 総会 1回 (3月 26 日)(日) 午後1時30分~3時30分
- 3 役員会 2回予定 (1月は新年会を兼ねる)
- 4 事務局会 随時予定 (編集会議を兼ねる)
- 5 会報知恩作成発送 2回予定 (第21号、第22号)
- 6 その他持ち寄り事項

平成29年度 第4号議案 収支予算案 29.1.1~29.12.31 単位:円

収入の部				支出の部			
科目	金額	内訳	摘要	科目	金額	内訳	摘要
前期繰越			20,489	法要費	160,000		
年度会費	140,000			経常経費	120,000		
29年会費		140,000	70x2000	寺院費		10,000	総会場費
法要参加				通信費		30,000	会報送料等
祇園寺法要	150,000		30x5000	資料費		20,000	会報印刷等
その他	10,000			会議費		20,000	会議諸掛
				事務費		5,000	事務諸掛
				雑費		10,000	
				振込料		5,000	会費送料
				予備費		20,000	
合計	300,000			合計	280,000	120,000	
	前期繰越		当期入金		当期支出		当期末残
	20,489		300,000		280,000		40,489

第5号議案 会則一部改定の件 (別紙会則参照)

第6号議案 任期満了に伴う役員改選の件(第5期 平成29年1月より30年12月まで 2年間)

次の方々を顧問にお迎え致しました

- 顧問 小原宜弘・祇園寺住職
高橋丈夫・水戸市議会議員
中里誠志郎・前水戸市教育委員会教育部長
市村眞一・常磐大学教授 「市川勢の軌跡」「大志」の著者
前茨城新聞社相談役

次の方々が新役員に選任されました

- 会長 川上有文
副会長 大森信男 前澤瑞穂 大森信明 市川達也 朝比奈泰将
(事務局) 常務理事 岡見円礼 深谷益美 弓削徳衛 門井孝広 成田行弘
理事 岡見瑞江 平戸吉衛 大森泰夫 綿引正明 田口 寛 富田満彌
大森信樹 鶴殿貴之 信木邦夫 福王泰史 武石宗明 朝比奈泰孝
監事 宇留野光 松葉尚志

水戸殉難者恩光碑保存会
会則

- (名称) 第1条 本会は、水戸殉難者恩光碑保存会 と称する。
又 水戸藩国事殉難者慰霊の会 を別名とする。
- (目的) 第2条 本会は、幕末維新の時、水戸藩諸生派等に所属し国事に奔走して殉難した人々を慰霊し、供養する。
- (行事) 第3条 第2条の目的を達成するため、次のとおり、慰霊法要を行う。
1 行事 水戸藩国事殉難者慰霊法要
場所 祇園寺 茨城県水戸市八幡町11-69
期日 原則として、隔年の9月
2 その他 茨城県内・外の現地慰霊(隔年)
- (参列者) 第4条 慰霊法要は、全会員に通知して行う。
又、 来賓として、特別参列者を招待する。
特別参列者は、事務局会で決める。
- (会員) 第5条 本会は、
1 水戸藩諸生派の後継子孫、親族、縁者及び本会の趣旨賛同者を会員とする。
2 会員は年会費を納入する。
- (役員) 第6条 本会を、運営するために、次の役員を置く。
(1)会長 1名 (2)副会長 5名以内
(3)常務理事 5名 (4)理事 若干名
(5)会計 1名 (6)監事 2名
- (役員) 第7条 会長は、総会で選出する。
副会長、常務理事、理事、監事は、会長の指名により就任する。
副会長は、会長を補佐する。
常務理事は、事務局を担当する。
任期はいずれも2年とするが、再任は妨げない。
- (顧問) 第8条 本会に、顧問を置くことができ、会長が委嘱する。
- (会議) 第9条 本会を、運営するため会議を開催する。
1 総会は 全員に通知して、年1回、定時に開催する。
但し、必要に応じて開催することができる。
2 役員会は全役員が参加し、総会、法要実施案等を協議する。
3 事務局会正副会長、常務理事が参加し、重要事項を協議する。
- (会計) 第10条 本会を、運営するために、会計基準を次のとおり定める。
1 収入の部
① 全会員・年会費 ¥2,000円とする
② その他 寄付金等
2 支出の必要経費を支出する
3 会計帳簿①水戸殉難者恩光碑保存会 (本会計)
②東京貯金センター (会費振込)
③恩光碑保存会基金 (特別会計)
4 会計年度は1月1日に始まり12月31日に終わる。
5 会計処は事務局が担当する。
- (本会 所在地) 第11条 本会は、事務局を次の所に置く
- (その他) 第12条 1 この会則は、平成18年10月22日から実施する。
2 この会則は、平成29年3月 日の一部改定する。
3 その他細部の必要事項は、事務局会で協議の上決める。

付則第 会費納入について

会則第10条第1項(収入)の規定により、会費の納入(お支払い)を戴くことになりました。また、会費の納入を以って入会の手続きとさせていただきますので、郵便局に払い込みをお願い致します。

記

- 1 年会費 会費は、会計年度(1月1日から12月31日まで)の年会費とし、定時総会後に郵便局の「払込取扱票」をお送りしますので、毎年納入をお願い致します。
定時総会は原則毎年・3月に行います。
但し、初年度は、平成18年10月22日から平成19年12月31日までとする。
全会員の年会費 ¥2,000円

支払方法

- ① 郵便局の振替用紙・払込取扱票に住所、氏名をご記入の上最寄の郵便局にお支払い願います。
- ② 郵便局の払込受領書を領収書とし、本会より領収書は発行致しません。
- ③ 会費以上の金額は、寄付金とさせていただきますので宜しくお願い致します。

- 2 法要参加費 慰霊法要参加費については、法要当日受領致します。

※ 入会の手続き方法

- ① 郵便局指定の(払込取扱票)に所定事項を記入して最寄りの郵便局に払い
- ② 口座記号番号 00190-0-669569
- ③ 加入者名 水戸殉難者恩光碑保存会
- ④ 金額 記入
- ⑤ 住所・氏名 記入

付則第: 恩光碑保存会基金

別名 (不測の事態対処寄付金積み立て特別会計)

水戸殉難者恩光碑保存会の行事などの不測の事態に対処するため、特別会計勘定を設けてその運営の健全化を図るために、会計基準を下記の通り定める。

記

- 1 名称は 恩光碑保存会基金特別会計 と称する。
- 2 目的1は法要行事運営上、不測の事態等の発生により、水戸殉難者恩光碑保存会に資金不足を生じた場合に、この基金特別会計より出金して対処する。
- 3 目的2は恩光無辺碑に修理を要する破損が生じた場合、その補修費の一部としてこの基金特別会計より出金して対処する。
- 4 資金は 役員、会員及び本会趣旨賛同者の方、各位の任意の寄付金を積み立てて基金とする。
- 5 資金は 資金限度額は、役員会で決める。 年予算
- 6 会計処 この特別会計は、水戸殉難者恩光碑保存会・付則とし、会則第10条の規定(会計基準)と同等に会計処理する。
- 7 変更 本規程の改定は総会の議決により決める。

27. 10. 18



モバイル版茨城新聞配信中

(月額300円+税)

諸生派に光を

市村 眞一

「勝てば官軍、負ければ賊軍」という言葉は重いのと思います。ロシヤ(旧ソ連)は第二次世界大戦の戦況をみて、日ソ不可侵条約を一方的に破棄し、満州(現中国)に攻め込み、多くの邦人を殺害、軍人を命め多くの邦人をシベリアに抑留、国際法に違反する過酷な労働を強いました。また、日本の北方領土を奪い、現在も美効支配を強めています。世界は黙視しています。これが「賊軍」となった日本現況です。

国内も同様です。明治維新時、薩長は朝廷に無断で錦旗を作り、官軍と称して幕府を倒すにお年寄りが目立ち、勝者でも敗者でもありました。来賓として市ありません。

懐かれました。諸生派は国家に尽力して亡くなった方々を祭っていましたが、幕府の立場で戦った会津藩士や水戸藩の「賊軍」となつて壊滅し、147年に戸藩諸生派の人々が祭られるまで、かなりの時間を費やしました。世間で日本でも「勝てば官軍、負ければ賊軍」は官軍、負ければ賊軍、妹都市を提議、毎年、

長や市議会議長、教育長など出席していただきたくたい。とごらなす。役所は公平でなければなりません。

あとは3年後の諸生派壊滅150年の節目の年に、最後の戦いを行った八日市場(現千葉県匝瑳市)の人々が戦死した諸生派の亡きがらを丁臺に葬り、供養碑を建て、地域住民の方々が清掃を欠かさず、市も文化財に指定してくれた事実を重く受け止め、匝瑳市と友好提携できるかどうかではないでしょうか。

もっとも、これまで無視してきた水戸市を匝瑳市が容易に受け入れるかどうかは分かりませんが、水戸市は努力すべきだと思います。

(茨城新聞社相談役)

水戸市は扱い公平に

なのでしょうか。歴史は人的交流を続けています。勝者によってつくられたものです。当然、勝者の目線で見られ、われわれはそれが本當の歴史と見、教育されてきました。

しかし、諸生派に対しては対応してきませんでした。天狗・諸生寺で小雨が降る中、諸生派の供養がひっそり行われました。参加大義に殉じた人々であるべきに失った感がある。

諸生派で寺泊(新潟県長岡市)にて病没した家老職の佐藤図書の章(目印に右)が置かれてあるだけに説明板を建て、水戸市の神意を重く受け入れ、匝瑳市が容易に受け入れるかどうかは分かりませんが、水戸市は努力すべきだと思います。

(茨城新聞社相談役)



水戸市 偕楽園 好文亭



偕楽園 梅の花

★計報

柏崎市西山町灰爪 荒木邦栄様 平成29年3月18日 逝去 ご冥福をお祈り申し上げます。
// 荒木ハナ様 平成28年 逝去 ご冥福をお祈り申し上げます。

平成元年、先代・荒木家光様には、灰爪の丘に(北越戊辰の役当地戦没者供養塔)の建立に、建立委員会を立ち上げ、その中心となって、尽力なされました。

慶応4年、この地で、水戸藩士(諸生派)50余名が、戦死しています。戦後、地元の方々が戦死者を手厚く葬られました。埋葬塚が4基あります。

長い間、誰も判りませんでしたが、昭和50年ころ、荒木ハナ様が、戦死者を発見され、それから、手厚く供養され、現在に至っております。

私ども本会も、平成24年に、灰爪の丘の供養塔の前で、慰霊式を挙りました。

平成30年は、明治150年の節目の年に当たります。又、灰爪の丘・墓参旅行を計画したいと思います。重ねて、荒木様に御礼申し上げ、ご冥福をお祈り申し上げます。

★御礼 と お願い

平成30年は、諸生派の皆様が殉難されてから、150年の節目の年にあたります。

平成28年中に、150年記念・事業協賛寄付金(総額¥55,000)を次の方々から、頂きました。ありがとうございました。

ご芳名下記の通り

佐藤万里子氏 岡見円礼氏 川上有文氏 朝比奈泰孝氏 結城敏也氏
大森信男氏 松葉尚志氏

平成29年度も、ひきつづき、多くの皆様の記念事業支援協賛をお願い申し上げます。

★本会は、会費のみで運営しています。資金不足になっていきますので、年会費の納入をお願い致します。会費は6月中にお願い致します。

昨年度、会費未納の方は、28年度分もお願い致します。

★編集後記

本年、有識者の方々を顧問にお迎えすることが出来、本会として、大変ありがたく思っています。本会は、素人の団体で、わからない事が沢山ありますので、これから、いろいろとご指導いただき勉強して参りたいと思います。

知恩第21号

発行日 2017年(平成29年)6月1日

発行所 水戸殉難者恩光碑保存会

発行人 川上有文

編集 事務局 編集委員会